

品種：夢つくし・元気つくし
ヒノヒカリF基準

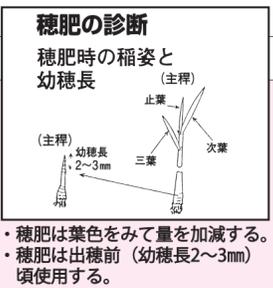


特裁米こよみ(県認証米・F基準)

特裁米の条件

※こよみに記載している肥料・農薬以外は使用できません。
※こよみ以外の肥料・農薬を使用した場合は必ず報告して下さい。(県認証より除外します。)

月	5			6			7			8			9			10			
	旬	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
夢つくし	生育期間	は種	育苗	田植	活着期	有効分けつ期	無効分けつ期	幼穂形成期	出穂期	穂揃期	登熟期間	成熟期							
	水管理			浅水	間断灌水	中干し	間断灌水	浅水	間断灌水	落水									
元気つくし	生育期間	は種	育苗	田植	活着期	有効分けつ期	無効分けつ期	幼穂形成期	出穂期	穂揃期	登熟期間	成熟期							
	水管理			浅水	間断灌水	中干し	間断灌水	浅水	間断灌水	落水									
ヒノヒカリF基準	生育期間	は種	育苗	田植	活着期	有効分けつ期	無効分けつ期	幼穂形成期	出穂期	穂揃期	登熟期間	成熟期							
	水管理			浅水	間断灌水	中干し	間断灌水	浅水	間断灌水	落水									



肥料・農薬・生産資材の購入はJAから!! 生産履歴は必ず記帳しましょう。

主な雑草及び害虫

コナギ	ホタルイ	アゼナ	ヒメトビウカ	セジロウカ	トビイロウカ	ミナミアオカメムシ
-----	------	-----	--------	-------	--------	-----------

斑点米カメムシ類対策

出穂10日前までに、カメムシ類の居場所となる、畦畔・草むらの除草を徹底して、圃場への侵入をふせぎましょう。

○箱施薬① 次のいずれか1つを選択

名称	使用量	使用時期	対象病害虫
ツインターポフェルテラ箱粒剤	1箱当たり50g	は種時(覆土前) 移植当日	いもち病、ウンカ類、フタオビコヤガ、ニカメイチュウ、コブノメイガ、イネミズゾウムシ
サンフェスタ箱粒剤		移植3日前 移植当日	いもち病、ウンカ類、フタオビコヤガ、ニカメイチュウ、コブノメイガ、イネミズゾウムシ
デジタルパワー箱粒剤(ウンカ類対策)		移植3日前 移植当日	いもち病、ウンカ類、フタオビコヤガ、ニカメイチュウ、コブノメイガ、イネミズゾウムシ※綿葉枯病の原因となるヒメトビウカへの効果が高い。
フルターボ箱粒剤(紋枯病対策)		移植3日前 移植当日	いもち病、ウンカ類、フタオビコヤガ、ニカメイチュウ、コブノメイガ、イネミズゾウムシ※紋枯病に効果がある。

※育苗センターの苗は、すべて箱施薬(ツインターポフェルテラ箱粒剤)入りです。田植前に箱施薬を散布する必要はありません。

○除草剤使用基準② 次のいずれか1つを散布

種類	名称	10a当たり使用量	使用時期
粒剤	キマリテ1キロ粒剤	1kg	田植時~10日(ノビエ3.0葉期まで) ※田植同時処理可
	ガンガン1キロ粒剤		
フロアブル	キマリテフロアブル	500ml	田植直後~10日(ノビエ3.0葉期まで)
ジャンボ	キマリテジャンボ	10パック	田植直後~10日(ノビエ3.0葉期まで)
豆つぶ	ガンガン豆つぶ250	250g	田植後3日~8日(ノビエ2.5葉期まで)

※除草剤処理後1週間は田面が露出しないようにすると効果が安定する。

○穂いもち病防除③ 次のいずれか1つを散布

名称	10a当たり使用量	使用時期
ダブルカットバリダフロアブル	希釈倍率1000倍 散布液量60~200ℓ	穂揃期まで
ビームソル	希釈倍率1000倍 散布液量100~150ℓ	収穫7日前まで
ビーム粉剤DL	3~4kg	
コラトップ1キロ粒剤12	1~1.5kg	穂いもち：出穂30日前~5日前まで
コラトップジャンボ	10~13パック	
コラトップ豆つぶ	250g	

※穂いもち病防除時期：「コラトップは、穂ばらみ期(出穂5日前)まで」「液剤・粉剤は出穂直前」に散布する事が重要です。

○穂揃期防除④ 次のいずれか1つを散布

名称	10a当たり使用量	使用時期	対象病害虫
キラップ粉剤DL	3~4kg	収穫14日前まで	カメムシ類 ウンカ類
キラップ粒剤	3kg		
キラップフロアブル	希釈倍率1000~2000倍 散布液量60~200ℓ		
スタークル豆つぶ	250g	収穫7日前まで	
ヘリ防除(キラップフロアブル)		収穫14日前まで	

○補正除草剤・防除 必要に応じて次のいずれか2つまで散布できます。(※クリンチャーバスまたはワイドショットを散布する場合は、他は使用できません。)

名称	10a当たり使用量	対象雑草	使用時期
※クリンチャーバスME液剤	1000ml/水70~100ℓ	ノビエ、広葉雑草	田植後15日~ノビエ5葉期但し収穫50日前まで
※ワイドショット1キロ粒剤	1kg	カヤツリグサ、ホタルイ	田植後15日~ノビエ4葉期但し収穫45日前まで
クリンチャーEW	100ml/水25~100ℓ	ノビエ	田植後20日~ノビエ6葉期但し収穫30日前まで
クリンチャー1キロ粒剤	1kg		田植後7日~ノビエ4葉期但し収穫30日前まで
バサグラン液剤(ナトリウム塩)	500~700ml/水70~100ℓ	広葉雑草、カヤツリグサ	田植後15日~55日但し収穫50日前まで
バサグラン粒剤(ナトリウム塩)	3~4kg	ホタルイ	田植後15日~55日但し収穫60日前まで

名称	10a当たり使用量	使用時期
リンバー粒剤	3~4kg	収穫30日前まで
バリダシン粉剤DL(使用しても化学合成農薬成分にカウントされません。)	3~4kg	収穫14日前まで
ウンカ類対策		
トレボン粉剤DL	3~4kg	収穫7日前まで
トレボン乳剤	希釈倍率1000~2000倍 散布液量60~150ℓ	収穫14日前まで
葉いもち	穂いもち病対策の剤(コラトップ(初発10日前~初発時)、ビーム)を使用	

○施肥基準 (kg/10a)

品種名	肥料名	基肥	穂肥	成分量		
				N	P	K
夢つくし	福岡嘉穂ユーキくん2号	35	—	7.2 (7.0)	2.65 (2.9)	4.15 (5.4)
	(ニューフレーバーペースト846)	(50)	—			
元気つくし	福岡嘉穂ユーキくん3号	—	30	7.2	3.0	3.6
ヒノヒカリF基準	有機エムコート256(基肥1回)	60(1回のみ)	—			

稲わらの全量還元・土壌改良資材の施用 (10a当たり、ケイカル・ミネラルG・珪鉄のいずれかを160kg散布、または、とれ太郎を60kg散布)

[稲こうじ病対策] (使用しても化学合成農薬成分にカウントされません。)

名称	10a当たり使用量	使用時期
Zボルドー粉剤DL	3~4kg	出穂20日~10日前
ドイツボルドーA	希釈倍率2000倍 散布液量60~150ℓ	

【注意】出穂前10日以降に散布すると穂に薬害が出ます!!

[スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)対策] (使用しても化学合成農薬成分にカウントされません。)

名称	10a当たり使用量	使用方法	備考
スクミンバイト3	2~4kg	湛水散布	浅水にして、水口、深いところ等タニシの集まる所にスポット処理も有効

その他対策：生貝の捕殺、卵塊の圧殺、取水口への網設置、浅水管理、厳冬の耕起等

肥料・農薬の注文は予約購入で経済効果を上げましょう。農薬は、散布前に必ず農薬ラベルを確認し、散布時には、天候に注意し、他の作物にかからないように散布しましょう。この栽培暦はJA米の生産基準を兼ねています。要件を満たさない米穀は区分してJAに出荷しましょう。

JAふくおか嘉穂本所管農センター ☎24-7093 JAふくおか嘉穂本所グリーンセンター ☎24-4200
JAふくおか嘉穂麻生管農センター ☎57-4000 JAふくおか嘉穂南部グリーンセンター ☎57-3915
飯塚普及指導センター ☎23-4154

生産履歴は必ず記帳しましょう。